

# 研究奨励受賞者による勉強会・座談会

## 大学院生の研究ライフ



当財団による「研究奨励受賞者による勉強会・座談会—大学院生の研究ライフ—」が、2016年12月18日に八重洲の貸会議室にて催されました。本イベントは、自然科学を学ぶ現役大学院生および卒業生たちが自身の研究生活の実体験などについて大学生と学術交流をすることで、学生たちが研究に対するイメージを抱き、意欲を高められる場を提供することを目的として企画されました。

当日のイベントには、現役学部生、大学院生、卒業生ら12名が参加しました。前半の勉強会では、財団の研究奨励受賞者である陳泰駿さん（博士課程学生）、李勇燦さん（博士課程学生）がそれぞれ「光合成微生物シアノバクテリアの有用物質生産への応用」、「生体分子のカタチから生命の謎を解明する」という題で発表を行いました。発表では、研究紹介のみならず、研究を進める上で突き当たった苦労話なども話され、参加者たちはそれらの話に熱心に耳を傾けていました。

後半の座談会では、現役大学院生および企業に勤める大学院卒業生たちが、それぞれの経験を大学生と自由に話せる時間が設けられました。参加した学生たちは、勉強の仕方、研究室選びのノウハウ、大学院での生活リズムなど、研究や生活に関わる様々なことについて先輩たちに質問を投げかけ、メモを取っていました。

時間はあっという間に過ぎ、本イベントは盛況な会となりました。未来の科学者たちを育てるこのようなイベントを今後も引き続き開催いたします。